

大勝 健司

法経学部 経済学科 2008 年卒

① 自身の仕事

公認会計士、税理士、社会保険労務士

② 自身の仕事の紹介

私は以下のような職歴を経て、現在に至っています。

- ・2008年の大学卒業後、2009年に公認会計士試験に合格し監査法人に就職
- ・2014年に上場企業に就職
- ・2017年にコンサルティング会社の設立（現任）
- ・2018年に税理士法人の設立（現任）
- ・2021年に社会保険労務士法人の設立（現任）

ここでは現在メインで仕事している税理士法人、社会保険労務士法人の仕事の紹介をしたいと思います。

税理士法人の仕事は、主に会社又は個人の月次の数値作成（毎月どれぐらい利益がでているか等）、年間の決算書の作成、税務署へ法人税、消費税、所得税の申告、税務相談が主な仕事です。皆さんになじみがありそうなところだと、確定申告を代行する業務がイメージしやすいかと思います。

社会保険労務士法人は、主に会社又は個人の社会保険（厚生年金、健康保険）の加入や脱退、労働保険（雇用保険、労災保険）の加入や脱退などを代行する手続きや、給与計算、労務相談などが主な仕事です。

税理士法人及び社会保険労務士法人で行っている作業は、日本中の全ての会社で必要とされている業務であり、自分たちで対応できる会社を除き、全ての会社が税理士法人、社会保険労務士法人にその作業を代わりに依頼しています。そのため、多種多様なビジネスに触れることができる点は魅力的な仕事だと思います。youtuberの方や、インフルエンサー、VTuberの方など、時代を反映した職業の方々と接する機会も自然と多くなります。

税理士業務や社会保険労務士業務は、日本中で必ず必要な業務です。一度これらの業務をマスターすると、どの業界にいても管理部門であれば対応できると思います。斜陽産業と言われることもありますが、実際に起業してみた実感として、人手が足りておらず、作業をしている人たちの平均年齢も高くなっており、若い士業の方はチャンスがとても広がっていると思います。

③ 自身の業界へ興味がある在学生の皆さんへのアドバイス

税理士を目指す道はいくつかのルートがあります。どのルートで最終的に税理士資格を取得するかは皆さんの考え次第ですが、働きながら取るとなると(2)の選択肢になるかと思います。(2)で働きながらとなると合格までの期間は長くなる傾向になるので、モチベーションの維持が大変（勉強しながら税理士を目指しているメンバーの感想）というのが実感としてあります。働かないで勉強に専

念するという選択肢があるのであれば(1)、(3)の方が個人的にはおすすめです。私は(1)のパターンで税理士登録をしています。

(1)公認会計士の資格を取得し、税理士登録

(2)専門学校に通って5科目全てに試験で合格

(3)会計大学院に進み、いくつかの科目を免除、残りの科目を試験で合格

社会保険労務士は、税理士ほどの難易度はないので働きながらも取得することは可能です。私も税理士法人で働きながら1年ほど勉強し、無事試験に合格することができました。

一度取得した資格は、基本的にはその資格を失うことはないので、長い人生を考えたときには有利に働くと思います。ただ実際に税理士法人や社会保険労務士法人で働いているメンバーでも、税理士や社会保険労務士の資格を目指していない人もたくさんいます。色々なビジネスを見てみたい、多くの経営者と関わりたい、中小企業を身近で応援したい、税理士業務や社会保険労務士業務を身につけることで、どんな会社でもやっていけるという自信をつけたい、など働く理由は様々です。

今は上場企業も安定しているとは言い難い時代です。手に職をつけるために、土業のような専門的な業界に飛び込んでみるのも面白いのではないのでしょうか？就職活動では、是非色々な業界を見てみてください。

(2022年10月)